

# よかばかいやね！小長井

製作者  
山野 博文

諫早市小長井町  
地域おこし協力隊

発行月  
2026年6月  
vol. 3

## 豆知識

### 牡蠣の性別



# なるほど！知るとより面白い。

## 小学生からのQ&A？

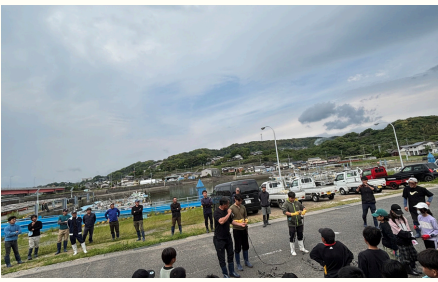
5月の始め、諫早湾漁業協同組合さんの協力の元、小長井小学校5年生の小長井牡蠣養殖体験がありました。この活動は垂下式養殖の準備・イカダへの設置、冬の小長井牡蠣解禁後の収穫をする2部構成で学習します。ホタテの殻についている牡蠣の赤ちゃんを見るのは初めて！こんなに小さい牡蠣が漁師さんの努力で冬には身ぶりの大きい牡蠣に成長していると知ると感動しました。始めロープにホタテの殻を通す作業に苦戦する5年生。しかし、やり方を覚えるとスピードを上げて次々通していく。器用にこなす姿にビックリしました。牡蠣の稚貝付ホタテをロープにセットし、いざ船に乗り養殖をするイカダへ。普段できない体験に、目をキラキラさせて楽しく体験をしていました。

Q 【牡蠣】と【華連】の養殖の仕方の違いは？  
A 育て方に違いがあります。一般的な牡蠣はほたての殻についた稚貝（宮城息）を垂下式方式のロープで育ててます。一方【華連】は地上の人口採苗で育てた稚貝をシングルシード方式で育てています。

Q 牡蠣のサイズはどう変化しますか？  
A 生まれた時は、顕微鏡で見ないとわかりません。1ヶ月でホタテに付着するくらい。（0.3ミリ〜数ミリ程度そこから育て1ヶ月後は3cmくらい。抑制のあると秋には10cmくらいに成長します。

Q 育てることで大切なことは？  
A 天候を常に意識しています。牡蠣の養殖は自然を相手にする仕事です。海水の温度で牡蠣が疲弊し、死んでしまうことがあります。牡蠣が死なないように、抑制4月頃干潟で育て、成長をコントロールし、産卵期に産卵を抑え、疲れにくくするし、冬に美味しい小長井牡蠣を皆様に届けられるよう心掛けて仕事をしています。

Q 小長井の漁師さんはどのくらいいるの？  
A 約40名近くの漁師さんがいて、家族も合わせると約120名近くの方が漁に出ています。20代〜30代の若い漁師も頑張っています。



## 野生の...

暖かくなってきた4月中旬。小長井をドライブしていたら、野生のきつねが！！初めて見た姿に思わず写真を撮ってしまいました。イノシシの話はよく聞きますが、キツネにびっくり。他にはどんな野生の動物が住んでいるのだろうか？？



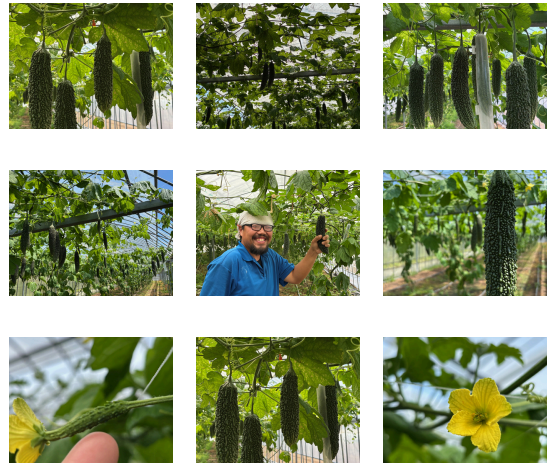
Q 牡蠣は性別があるの？  
A 雌雄同体で時期により性別が異なります。牡蠣は生殖時期が終了すると一度、中性になり、その後の栄養状態により、メス・オスと変化します。そのため、毎年オスとメスの比率は変化があります。（目視での区別が難しいそうです）

# とつげき！こながい

1

## ゴーヤー農家

小長井長里地区でゴーヤー農家をしている川添さん。川添さんは以前、長野県でりんご農家に勤めており、地元で農家をしようと諫早にUターン。諫早の農家といえばきゅうり・トマトと考えていたところ、小長井・高来でゴーヤー栽培が有名と知る。新規就農でゴーヤーを始め、5年目。現在2反分のハウスを作業場として持っており、日々奮闘中。東部ハウスゴーヤー部会の【より良い品質のゴーヤーを作る】を常に心がけ取り組んでいます。川添さんは目標として『とにかく今は頑張っ、アパート暮らしから一戸建てに暮らしを変えたい』という想いをもちながら日々頑張っています。



2

## みかん農家 ～遠竹～

遠竹地区でみかん農家をしている宮崎さん。宮崎さんはみかん栽培(5種類)を主にしていますが、そのほかに、ししとう・ピーマン・オクラ・なす・ねぎ・きゅうり・つくね芋・つわ・胡椒・えだまめ・かぼちゃ・トマト・とうもろこし・しょうが・みょうが・大根・いんげん・すいか・落花生・栗・柿・桃・びわ、とたくさんの種類の作物を季節を通じて作っています。みかんの品種は岩崎、原口、大津、させぼ、青島の5種。なかでも原口は宮崎さんのお気に入り。とにかく美味しいみかんを食べてもらいたい。剪定・摘果・収穫の計画を入念にし、以前の職場の自衛隊の先輩・後輩たちに支援をいただき、楽しくやられています。また、作ったみかんを食べた人が喜んでくれたらと、笑顔で話していました。冬が楽しみです。



トマト 5/18 みかん 6/13 みかん



落花生 トウモロコシ 破竹



ポポー しょうが スイカ

先日、小長井中学校2，3年生を対象に小長井についてのトークセッションがありました。小長井は過疎地域としてみなされており、今後のあり方を中学生・町おこし隊の皆さんと話しました。大きなことはできないかもしれませんが一番大切なことは、一人ひとりが小長井は故郷であり、いつでも戻ってこれる大切な場所であり続けることであると私は思いました。今後、3年生は卒業後に向けて頑張り、2年生は学校のリーダーになる学年に向けて活動していきます。熱い気持ちを持ち、『小長井出身の人は元気が良い!』とどんな場面でも力強いことが小長井の魅力になっていくと思います。私も負けずに頑張っていきます。